

2015.4 — 2016.3
ARCHIVE of hacchi



hacchi

2015.4 — 2016.3
八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

目次

○館長あいさつ	1
○はっちについて	2
はっちのコンセプト・ミッション	4
はっちの年表	5
はっちのまちなか効果	6
○はっちの5周年	7
○はっちの自主事業	8
【中心市街地賑わい創出事業】	
イベント連携事業	9
市民活動支援事業	10
美人塾inはっち	12
はっちのゴールデンウィーク	13
はっちのたなばた	14
はっちのクリスマス	16
はっちのお正月	18
はっちのひなまつり	19
はっち新規ファン開拓事業 第3回八戸市民ロボコン	20
ライブラリ事業	21
【文化芸術活動支援事業】	
まちぐみ事業	22
田附勝写真展「魚人」	23
アーティスト・イン・レジデンス事業	24
和日カフェ～日本文化に親しむ日～	25
はっちヒカリアソビ2016～はっちメディアアートフェスティバル～	28
酔っ払いに愛を～横丁オンリーユーシアター～	30
パフォーミングアーツ振興事業	31
第四回はちのへ演劇祭	32
【ものづくり支援事業】	
ものづくりスタジオ	33
はっち市2015～はっちがちっちゃな街になる～	34
ものづくり支援事業	36
【観光振興・FMアクセス事業】	
お祭りin はっち2015(八戸三社大祭)	37
えんぶりin はっち	38
市民学芸員・はっち特派員・はっちサポーター	39
○ボランティアガイド	40
○情報発信事業	41
○貸館事業	42
○こどもはっち	44
○2015年度 はっちの自主事業一覧	46



東日本大震災からの復興を市民とともに

八戸ポータルミュージアム 館長

八戸ポータルミュージアム はっちが開館したのは、平成23年2月11日。八戸地方に春を呼ぶと伝わる「えんぶり」が始まる1週間も前の寒い日でした。その日を待ちわびた大勢の市民がどっと押し寄せ、館内は身動きも取れない状況に。三日町には松明とキャンドルが灯され、そこには、今まで見たことのないマチの景色がありました。

はっちが開館して1か月後の3月11日、東日本大震災に襲われます。八戸もまさに想定外の甚大な被害を被るなか、はっちは明かりを灯し続けました。市内全域が停電しているため、いつもよりも星空がくっきりと見えたあの頃、明かりが灯っている、人が集まっている場所があるということは、どれほど多くの人の心をほっとさせたのでしょうか。

そこからは、はっちは人々へ元気を届けるための、さまざまな事業を展開していくことになります。それも、八戸市民の、企業の、各団体の多くの方々と一緒にです。八戸のマチを元気にするために設置されたはっちですが、はっちが届ける元気は、八戸の市民の、企業の、さまざまな方々の元気です。マチが元気であること、それは八戸が元気であること。そして八戸が元気であることは、東日本大震災で被害を被った各地の方々の早期復旧、新たな復興への支援となることとの想いから、はっちは動き続けてきました。

奇しくも震災から5年経った年に、津波でアメリカまで流された大久喜の浜の神社の鳥居が、各方面の方々のご厚意によってもとの浜へ再建されたことと、そのことを大久喜の浜の人々の生活とともに写真展でお伝えできたことは、感慨深いものがあります。太平洋の大海原を越えた先にも私達と同じ人々の営みがあること、民族も言語をも越えて心の拠り所であるモノへの畏敬、そして人を思いやる心は距離など軽がると越えることを、あらためて教えられ、私達の心は震えました。この震えは、はっちへ足を運んでくださった多くの方々にも伝わったと信じています。

はっちがこれまで伝えてきたこと、これから伝えていくこと、それは全て「まちを、そしてそこに暮らす人を元気にする」ための想いひとつです。常に、あなたとともに。



はっちは「ソウゾウ開化」のために生まれました。

「ソウゾウ」と聞いて何を思い浮かべますか。

アートであったりデザインであったりするかもしれません。

「ソウゾウ」とは、まちやひとを想う視点を変えてみることであり、
その「本質」を育てる取り組みであると考えます。

「本質」を育てると何になるでしょう。

「本質」が大きく育つと「ブランド」と呼ばれてきます。

まちのシンボルとなる「ブランド」は、「ひと」の絆を育んでいきます。
では「本質」はどこにあるのでしょうか。

一見関係もなさそうな身近なところに、実はそっと存在しています。
あまりにも距離が近すぎるために、見落としているだけではないでしょうか。

その見落としている「本質」を探しだすこと、

そのために、ちょっと今までとは違う視点で見てみることに、

そして、その具体的な活動が「ソウゾウ」であり、

そういう場や機会をつくることです。

はっちの役割＝『ソウゾウ開化』だと考えています。

名称とシンボルマークがあらわすもの

公募から生まれた愛称「はっち」

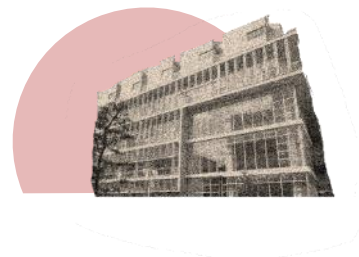
「はっち」という愛称は、公募から生まれました。八戸の「はち」から派生した「はっち」であり、市民にとって最も身近な言葉の一つでもあります。また、英語で卵の孵化や出入口などを意味する「hatch」にもちなんで名づけられました。さらに、着地型観光ならぬ、ここから市内各地に送り出す発地（はっち）型観光の意味もあります。

正式名称が示す施設の機能

正式名称「八戸ポータルミュージアム」は、来館者が観光などのために、実際の八戸に足を踏み出す玄関（入口＝ポータル）としての機能を担う施設であるとともに、市民の創造活動の拠点として、その本質に触れることができる博物館（＝ミュージアム）のような機能を担う施設であるという意味が込められています。

地域の特徴を表現したシンボルマーク

シンボルマークは、デザイナーの古平正義氏により、数字の8をモチーフとしてデザインされたものです。八戸は南部地域の八戸から九戸までの数字を冠するまちに囲まれ、また「はっち」も中心市街地の市日^{いちび}を表す三日町という町の中にあるなど、数字の地名が多い八戸の地域的な特徴を表しています。



フィールドミュージアムとポータルミュージアム

八戸を「屋根のない大きな博物館」と見立てたフィールドミュージアム八戸は、観光資源を、まち・渚・田園・祭・歴史文化・食彩・産業・物産の8つのテーマでわかりやすく紹介しています。「はっち」ではこれらの魅力をコンパクトに集め、実際の八戸へと誘う玄関としての役目を担います。さあ、「はっち」からそれぞれのミュージアムへでかけよう！

8へのこだわり

「8」を中心としたシンボルマークは、八戸が南部地域の八戸から九戸に囲まれている特徴を表しています。また、はっちでは、八角形の中庭、8個の展示屋台、からくり獅子舞仕掛時計の8つの頭など末広がり縁起のいい「8」にこだわり取り組みました。そして、1周年記念セレモニーのその日、なんと88,888人目の入館者を迎えたのです。

事業のコンセプト

「はっち」は地域の資源を大事に想いながら、新しい魅力を生み出していくところです。地域の資源を大事にすること、市民と協働すること、まちなかに回遊することを意識し、3つの事業を行っています。

会場所 づくり

誰でも気軽に立ち寄れる場、人が集いコミュニケーションが生まれる場、地域の文化に触れられる場をつくりまします。

- ・こどもはっち
- ・はっちひろば
- ・リビング
- ・カフェ、ショップ ほか

貸館 事業

創作活動をサポートする施設の貸し出しをします。

- ・シアター
- ・ギャラリー
- ・各種スタジオ
- ・レジデンス ほか

自主 事業

地域の資源を活かした事業のプロデュースにより新しい価値を創造するため、4つの柱に基づいた事業を展開します。

- ・中心市街地賑わい創出事業
- ・文化芸術活動支援事業
- ・ものづくり支援事業
- ・観光振興・FM（フィールドミュージアム）アクセス事業

展示のコンセプト

八戸の見どころや魅力を、市民作家や市民学芸員の作品を通してわかりやすく紹介し、ここからまちなかや観光地に誘う玄関口としての展示がコンセプトです。

また、「はっち」館内は展覧会や発表会、練習などで活動している元気な市民の姿や、読書や憩いの場としてゆったりとした時間を過ごす姿、八戸弁でおしゃべりをしている素のままの市民の姿も含め、まるごと八戸が感じられる施設です。市民にとっては、八戸の魅力を再認識し誇りに思う場、観光客にとっては八戸に来たら必ず寄ってみたい場となります。

建築のコンセプト

「はっち」は八角形の中庭を中心に、八戸の中心街の特徴である路地や横丁のような回廊、広場のような空間があります。八戸の魅力を発見しながら、各所で観覧や活動、ショッピングや飲食、休憩を楽しめる立体的なまちとして造られています。

はっちのミッション

「はっち」はまちを元気に、ひとを元気にします。

市民とつくる事業、産業、観光振興のためのクリエイティブな事業、そして、そこに集まる人々のコミュニケーションがまちを動かす力を生み出していきます。

- 八戸のやる気をさらに引き出します。
- まちの連帯感をつくりまします。
- ほしいものがあるまちにします。
- 歩きたくなるまちにします。
- 八戸資源を再発見するきっかけをつくりまします。
- 八戸流の情報発信をします。
- 子どもからお年寄りまで共に育てあう場をつくりまします。
- 新しい価値と表現を生み出す場をつくりまします。

2011



2011年2月11日開館

はっちの年表で見る
八戸の変化

中心街の歩行者通行量

はっち前(2010年度比)
90%増
中心街地全体(2010年度比)
30%増

2012

来館者数

2012年2月11日(開館から1年)
888,888人達成

来館者数

2012年3月27日
100万人達成

中心街の歩行者通行量

はっち前(2010年度比)
145%増
中心街地全体(2010年度比)
40%増

2013

中心街の新規事業所

2011年2月11日(はっち開館)～
2013年3月31日に出店した数
50事業所開設(店舗含む)

来館者数

2013年5月15日(開館から2年3か月)
200万人達成

テナント・複合ビル
整備事業

大型空ビルの民間再開発の動き
(旧ビルの打ち置き換合計17,059㎡)
3事業

中心街の歩行者通行量

はっち前(2010年度比)
101%増
中心街地全体(2010年度比)
20%増

2014

来館者数

2014年5月30日(開館から3年3か月)
300万人達成

中心街の歩行者通行量

はっち前(2010年度比)
109%増
中心街地全体(2010年度比)
25%増

2015

来館者数

2015年6月2日(開館から4年4か月)
400万人達成

はっちの来館者数

2012年3月27日 100万人達成
2013年5月15日 200万人達成
2014年5月30日 300万人達成
2015年6月 2日 400万人達成

2016年3月31日現在
4,791,861人

2016

来館者数

2016年3月31日(開館から5年1か月)
4,791,861人

はっちの表彰

- 2011. 照明学会 照明普及賞受賞
- 2012. グッドデザイン賞(八戸レビュー)
- 2013. グッドデザイン賞
(市民が地域づくりに参画できる仕組み、プロジェクト)
- 2013. 第33回東北建築賞
- 2013. 「日本建築家協会優秀建築選」100選
- 2014. 文化庁長官表彰(文化芸術創造都市部門)

はっちのまちなか効果

このまちがもっと、このまちらしく輝くために・・・

開館からの5年間、「はっち」では、地域資源を大事に想いながら、まちの新しい魅力を創り出すことを念頭に置き、誰もが気軽に集いコミュニケーションが生まれる「会所場づくり」、多様な市民活動の場として施設利用の促進を図る「貸館事業」、そして積極的にまちの活性化の目標を追求するための「自主事業」を市民の皆様と一体となって展開してきた。その結果、入館数は2015年度に過去最高の98万人を記録し、2015年6月には延べ入館者数が400万人を突破するなど、依然として高い水準で推移している。また、中心市街地の歩行者通行量は2010年度と比べて減少するも、中心市街地の空き店舗・空き地率が大幅に改善され、中心街の新規開設店舗・事業所数も2011年2月から2014年8月までで、131件にのぼっている。さらには、大型空きビルの民間再開発の動きが3事業あるなど、まちに目に見えて活気が生まれている。

また、はっちの館内ボランティアガイド及び自主事業のイベントボランティアを合わせた延べ参加者人数も年々増えつつあり、まちのために主体的に動ける市民の方々が続々と集まってきている。2014年からスタートした事業で、まちの活性化のために集まった市民ボランティアで結成された、ゆるやかな活動グループ「まちぐみ」には、市内外から300人以上が参加しており、アーティストの山本耕一郎氏のもとで、まちづくり活動への市民参加のあり方の新展開を模索しているところである。

はっちのまちなか効果を持続・発展させるためにも、これまで以上に地域に寄り添い、新しい考え方や手法を用いて「はっち流」に、市民のアイディアや意欲を支える取組を推進し、八戸の文化発信・創造拠点としての役割を果たしていきたいと考えている。



延べ入館者数 400万人達成記念セレモニー



はっちの5周年

地域の資源に想いを馳せた5年間を振り返り、次のステップへ

はっちでは、2011年2月11日のオープン以来、市民と共に進めてきた5年間の取り組みを振り返りつつ、次のステップへ踏み出す契機となるよう、開館5周年記念セレモニーを開催しました。また、2016年1月から3月にかけては5周年記念事業を実施しました。

■はっち開館5周年記念セレモニー

（記念映像を上映し、はっち5年間の歩みを振り返ったほか、祝賀演奏やステージイベントが記念ムードに華を添えた。）

- ・実施日：2016年2月11日（木・祝）
- ・参加者数：約100名

■スペシャル投げ銭ライブ

（たまに庵の一ぼプロデュースによる投げ銭ライブ拡大版を開催。館内テナントによる5周年イベント限定の飲食物販売も実施。）

- ・実施日：2016年2月11日（木・祝）
- ・参加者数：約100名

■5周年記念事業

・田附勝写真展「魚人」

（写真家の田附勝氏が八戸の沿岸部のハマの人たちの暮らしを約1年間にわたって撮影した写真の展覧会を開催。初日にはアーティストユニット KOSUGE1-16の土谷享氏とのトークイベントも開催。）

- ・期間：2016年1月30日（土）～2月21日（日）
- ・参加者数：約2,000名

・まちぐみアーカイブ展

（「まちぐみ」の1年間の活動を振り返る展示。500枚以上の活動記録写真のほか、まちぐみ組員がデザインした南部せんべいの新しいパッケージデザインも展示。）

- ・期間：2016年2月8日（月）～2月21日（日）
- ・参加者数：3,658名

・第3回八戸市民ロボコン大会「イカとり合戦！」

（八戸名物の「イカ」をテーマに、市民参加型のロボコン大会を開催。）

- ・実施日：2016年2月14日（土）
- ・参加者数：11チーム32名（観覧者：約100名）
- ・参加料：3,000円
- ・主催：八戸市民ロボコン実行委員会

・はっちヒカリアソビ～はっちメディアアートフェスティバル～

（市民参加型プロジェクション・マッピング作品を投影する「幻想スクエア 2016」ほか、文化庁メディア芸術祭青森展サテライト展示などメディアアート関連の展示を実施。）

- ・期間：2016年3月1日（火）～3月21日（月・祝）



記念セレモニーのオープニングを飾った小坂勝義社中による祝賀演奏



展示期間中は毎日、まちぐみメンバーが展示に参加



白熱する市民ロボコン大会の様子



はっち壁面にゲーム画面が投影され歓声があがる

はっちの自主事業

「はっち」は「地域の資源を大事に想うこと」、「市民と協働で行うこと」、「まちなかに回遊させること」をコンセプトに、以下の4つの基本方針に基づいて、分野横断的に事業を展開している。また、市民ひとりひとりが多様な形で参加し、市民が主役になれる仕組みを設けており、地域資源の掘り起こしやシビックプライドの醸成、コミュニケーションの再構築につながるあらゆる取り組みが、市民の手によって日常的に行われている。

「はっち」では、これからもたくさんの市民に関わっていただきながら、まちの歴史や文化を大事に想いつつ、これまでとは異なる視点からまちの魅力や地域の宝に光を当てるような自主事業を実施していく。

中心市街地
賑わい創出
事業

文化芸術
活動支援
事業

ものづくり
支援事業

観光振興
・FMアクセス
事業





中心市街地
賑わい創出
事業

イベント連携事業

はっちのお店は、まちなかイベント
とともに中心街を盛り上げます！



この日限定の特別フードメニューが並び

5月～10月(7・9月除く)の最終日曜日に開催されるはちのへホコテンや七夕まつり、八戸三社大祭など中心市街地が歩行者天国になる際は、食のものづくりスタジオを中心に、館外に出店。

出店時には各店舗でイベント限定の商品を用意。立ち寄る方々が多くいらったことで、まちなかイベントとともに中心街を盛り上げた。

○実施日

- ・はちのへホコテン: 5月～10月(7、9月を除く)最終日曜日
2015年5月31日、6月28日、8月30日、
10月25日
- ・八戸七夕まつり: 2015年7月17日(金)～7月20日(月・祝)
- ・八戸三社大祭: 2015年7月31日(金)～8月4日(火)

○協力: 八戸中心商店街連絡協議会 はちのへホコテン実行委員会



こどもはっちスタッフも一緒にまちなかイベントを盛り上げる

市民活動支援事業

市民の活動の場を演出

■「ストリート投げ銭ライブ in はっち」

2014年から始まった「ストリート投げ銭ライブ in はっち」は、音楽ファンやパフォーマー達の発表の場として、月2回程度(年間20回)水曜日の夜にはっちひろばで開催。

来場者は、館内販売の飲食を楽しみながら観賞し、自分の気持ちに応じて「投げ銭」という、出演者にとってはダイレクトに客の反応が伝わるステージ。

・期間:2015年4月～2016年3月(年間20回)

・出演者:4月22日 Sugar&Spice
5月13日 OLDAGE+ok
5月27日 汁健
6月3日 ゴスパーズ
6月17日 和気愛会
7月8日 加賀 JF
7月29日 厨二病ナイト
8月19日 栗原郁夫とアートワークス
9月9日 PASACO
9月23日 アミーラザハラ
10月14日 やどりぎ
10月28日 剣崎 望
11月11日 星川 七恵
12月9日 アイサ
1月20日 古屋敷 祐太
1月27日 鈴木 操良慈
2月3日 ゆらゆら
2月24日 桜花
3月9日 佐藤 慎悟トリオ
3月30日 馬はなし亭呑助

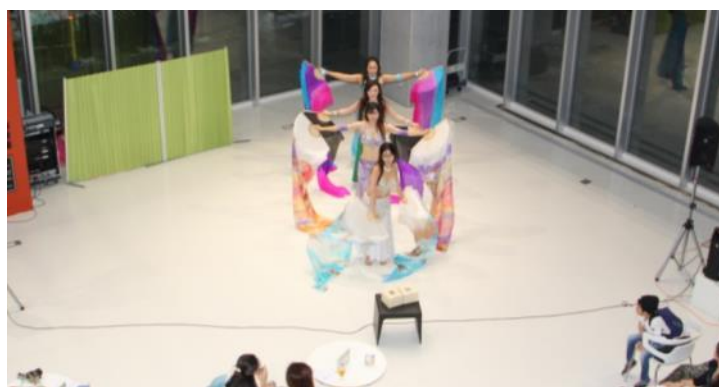
開場:18:30

開演:19:00

終演:20:00

・入場料:無料

・来場者数:1回平均 約30名



■「はっちがずっぱど南部弁」～うん、これアよごあんすナ～

2015年の「はっちがずっぱど南部弁」は3章構成で、第1章は語り部養成講座受講生10人による南部昔コ語りと江南小学校4年生による「貧乏神物語」の演劇を南部弁で表現する「南部昔コ語りに挑戦」、第2章は方言についての講演や地域による南部弁の違いを昔コ語りで楽しむ「南部弁サミット in 八戸2015」、第3章では昔ながらの南部弁をコントやラジオ体操などでバラエティー風にステージで披露した「南部弁バラエティーシアター全員集合!」を実施。

・実施日:2015年12月5日(土)

第1章「南部昔コ語りに挑戦」

語り部養成講座の受講生らによる南部昔コ語り、小学生による演劇「貧乏神物語」

出演:南部昔コ語り部養成講座受講生10名

江南小学校4年生23名

司会:柗谷伸夫氏(八戸童話会)

参加者数:約230名

第2章「南部弁さみっと in 八戸2015」

1 「日本にも消滅の危機にある方言や言語がある」

文化庁文化部国語課 鈴木仁也氏

2 津軽弁と南部弁の昔コを楽しみましょう

津軽昔コ:千葉涼子氏/南部昔コ:柗谷伸夫氏

3 ニュースで比べる津軽弁と南部弁の違い

津軽弁:三橋光子氏/南部弁:柗谷伸夫氏

4 八戸の方言インタビュー「むがしの八戸」

ゲスト:鷹屋敷雄太郎氏 インタビュアー:柗谷伸夫氏

5 場所によって違う南部弁を昔コ語りで確かめましょう

[三戸]久慈瑛子氏 [五戸]佐々木和子氏 [下北]越膳昌子氏
[岩手県釜石]漁火の会

司会:今村かほる氏(弘前学院大学文学部)

大野眞男氏(岩手大学教育学部)

参加者数:約110名

・実施日:2015年12月6日(日)

第3章「南部弁バラエティーシアター全員集合!」

十日市秀悦氏プロデュースの南部弁、南部人がはっちに大集合。笑いや語り、歌に体操など、南部弁満載のバラエティーショー。

出演:十日市秀悦氏、あどばる～ん、中島美華氏、大地球氏、八戸東高校表現科生徒

参加者数:約210名

チケット:1,500円(高校生以下1,000円) ※当日は500円増



江南小学校4年生による南部昔コ「貧乏神物語」



南部弁と津軽弁、標準語で同じニュースを聞き比べ



紙芝居を使った南部昔コ物語



八戸東高校表現科の生徒も出演し、会場を盛り上げる



南部弁バラエティーシアター全員集合!南部弁だらけの爆笑ステージ



みなさん南部弁で歌いましょう♪はづのへうみねこ合唱団

美人塾inはっち

凜

女性であることをもっと楽しく。

ヒントを学ぶ2日間



八戸特派大使の対馬ルリ子氏と奥山千鶴子氏、八戸市在住の岡本潤子氏、高畑紀子氏をゲストに招き、八戸満喫の旅とセットになった、美と健康にまつわるトークイベントを実施。

はっち開館5周年記念事業の一環として開催。

・期間：2015年8月22日(土)～23日(日)

・参加者：23名(女性限定)

・参加料：15,000円

1日目 8月22日(土)

○エッセンストーク

現代女性の多様化するライフスタイルに応じた、自分らしく健やかな人生を送るためのアドバイスとエール。

講師：対馬ルリ子氏(対馬ルリ子女性ライフクリニック銀座院長・八戸特派大使)

○輝く女性達のトークセッション

「女性としてもっと素敵に生きるヒント」「女性としてもっと素敵な心とからだを磨く」をテーマにしたトークセッション。

パネリスト：対馬ルリ子氏、奥山千鶴子氏(NPO 法人子育てひろば全国連絡協議会理事長・八戸特派大使)、岡本潤子氏(千葉幼稚園園長、八戸市教育委員)、高畑紀子氏(八戸グランドホテル顧問)、風張知子(八戸市まちづくり文化スポーツ観光部長)

○サロントーク(レジデンス2部屋に別れてのトーク)

テーマ1「生き生きと生きるための 身体の知識」

講師：対馬ルリ子氏 ファシリテーター：岡本潤子氏 参加者：12名

テーマ2「生き生きと生きてもらうために 差し伸べる手」

講師：奥山千鶴子氏 ファシリテーター：風張知子 参加者：10名

○交流会

講師を囲み、サロントークよりもさらに親密に大人の女性の会話を楽しむ交流会。「凜 女性であることをもっと楽しく」のテーマに即した、身体にうれしい・優しい美と健康のためのスペシャルメニューとそれに合わせた飲物を提供。

プロデュース：岡本潤子氏

会場：金剛

2日目 8月23日(日)

○エクスカーショントーク「女性美探究ツアー」

はっち発着の貸切バスで下記メニューの特別ツアーを開催

朝市朝ごはん(館鼻岸壁朝市)→招運祈願の正式参拝を学ぶ(燕嶋神社)→記念撮影(葦毛崎展望台)→ヨガ体験&施設見学(種差海岸インフォメーションセンター)→季節のスムージー付き昼食(民宿石橋)→蔵見学・酒粕パック体験・試飲(八戸酒造)

参加者：17名



開会に先立ち冷たい抹茶でおもてなし



対馬ルリ子氏によるエッセンスセッション



サロントーク・奥山さん



エクスカーショントーク・ヨガ体験

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのゴールデンウィーク

春の暖かさではっちが
目覚めるゴールデンウィーク8日間



Marché×Buy はちのへでは、大勢の市民が会場に詰め掛けた

例年開催している恒例イベントのほか、春にちなんだプログラムを多数開催。八戸をテーマにした写真展やイラスト展、また小粋なマルシェやニュースポーツ体験など、バラエティ豊かなイベントを連日開催。

■ 虎舞水飲み場オープニング2015

(冬ごもりをしていた虎舞水飲み場が2015年の活動を再開！)

賑やかな音楽イベント、左比代虎舞の披露で花を添えた。)

・実施日：2015年4月26日(日)

・来場者数：約100名

・実施：八戸圏域水道企業団

・出演：左比代虎舞、柏崎小学校バトン部

■ Marché×Buy はちのへ

(フード・お買い物を楽しめる小粋なマルシェや音楽演奏など)

「市民と花のカーニバル」と連動したイベントを開催)

・実施日：2015年4月29日(水・祝)

・入場者数：7,892名(当日の来館者数)

・実施：八戸商工会議所

■ 西澤照光写真展

「時空超華大賀ハス～太古からの目覚め～」

(2014年日本美術評論家大賞受賞者による「新井田対泉院の古代ハス」をテーマとした写真展を開催)

・期間：2015年4月29日(水・祝)～5月6日(水・休)

・実施：西澤照光氏

■ 八戸ファンタジックイラスト展

(蕪島やイカ、合掌土偶、えんぶりなど八戸に馴染み深い題材をテーマに、幻想的に描いたイラスト展)

・期間：2015年4月29日(水・祝)～5月6日(水・休)

・実施：田中千鶴氏

■ PPF青森写真展「nine colors」

(写真誌「PHaT PHOTO」公式ファンクラブのメンバー9名が、それぞれ選んだ1色をテーマに撮影した写真展を開催)

・期間：2015年4月30日(木)～5月6日(水・休)

・実施：PPF 青森

■ ニュースポーツフェスティバル in はっち

(こどもも大人も気軽に楽しめる6種類のニュースポーツが大集合！体験数により景品が当たる抽選も実施)

・実施日：2015年5月2日(土)

・参加者数：2,714名(当日の来館者数)

・実施：八戸市レクリエーション協会

■ こどもはっち大運動会

(親子で参加する運動会。赤ちゃんのハイハイレースやパン食い競争、玉入れなど2チームに分かれて8競技を実施)

・実施日：2015年5月6日(水・休)

・参加者数：35組

・実施：こどもはっち



冬ごもりしていた虎舞水飲み場がオープン！
左比代虎舞の演舞が花を添えた



ニュースポーツ(公式ワナゲ)を楽しむ子ども。
ワナゲは入ったかな？



親子でパン食い競争。パンをくわえてゴールを
目指そう！

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのたなばた

年に一度の夏の行事である
七夕に想いを込めて！



音楽ライブやダンスパフォーマンス、中国武術、アニメーション作品の上映を行ったほか、市内ホテル・飲食店のシェフが作った限定のブイヤベースを提供。さらに、短冊コーナーを用意し、来館者が短冊に願いを込めた。

■たなばた親子シネマ

(七夕にちなんだ子ども向けのアニメーション(グスコブドリの伝記ほか)や地元製作映像(南部の昔コ等)の上映会を開催)

- ・実施日:2015年7月6日(月)～7月19日(日)
- ・協力:八戸市児童科学館
- ・入場者数:約800名

■Bill Murray & 深川詳子 STAR LIGHT LIVE

(アメリカ人歌手 Bill Murray と深川詳子によるアメリカンポップスコンサート)

- ・実施日:2015年7月11日(土)
- ・入場者数:約80名

■七夕・魅惑のベリーダンス in はっち

(アラブ音楽、そして、きらびやかな衣装でのエキゾチックなベリーダンスショー)

- ・実施日:2015年7月11日(土)
- ・出演:Emel Oriental Dance
- ・入場者数:約80名

■夏もブイヤベースだ！2015

(八戸の魚食文化に旋風を巻き起こす八戸ブイヤベースを、2日間限定で提供)

- ・実施日:2015年7月11日(土)、12日(日)
- ・主催:八戸ハマリレーションプロジェクト
- ・参加者数:約1,100名
- ・提供:1食800円 11日300食、12日500食
- ・各シェフ自慢の特別料理販売:500円～

■七夕ライブinはっち

(市内外のロックバンド7組が出演した七夕ライブ)

- ・実施日:2015年7月12日(日)
- ・出演:サタンオールスターズ他
- ・入場者数:約120名
- ・入場料:500円

■八戸七夕まつり飾りつけコンクール表彰式

(はっちをはじめ、中心街の七夕飾りのコンクール表彰式)

- ・実施日:2015年7月18日(土)
- ・実施:八戸七夕まつり実行委員会(八戸商店街連盟)
- ・参加者数:約100名



短編アニメや地元製作映像が盛りだくさん！



アメリカンサウンドの真髄！



アラブ音楽のエキゾチックなダンス

■たなばた茶会

(七夕にちなんだ設えでおもてなし)

- ・実施日:2015年7月18日(土)
- ・協力:茶道裏千家淡交会 青森青年部
- ・参加者数:約300名
- ・茶券代:300円

■八戸武術倶楽部 in はっち

(中国武術長拳(カンフー)と太極拳の披露)

- ・実施日:2015年7月18日(土)
- ・出演:青森・八戸武術倶楽部
- ・入場者数:約100名

■七夕オカリナ演奏会

(オカリナの音は土の音、そのナチュラルな音で七夕の曲、懐かしい曲を披露)

- ・実施日:2015年7月18日(土)
- ・出演:オカリナ ange
- ・入場者数:約100名

■ふるーとのタベ

(音楽講師3名の特別七夕ユニットによる演奏)

- ・実施日:2015年7月19日(日)
- ・出演:フルート植田由紀子・西村明子/ピアノ小向香織
- ・入場者数:約120名

■Mu*mu の七夕ダンスライブ in はっち

(ダンスユニットによるパフォーマンス)

- ・実施日:2015年7月19日(日)
- ・出演:Mu*mu
- ・入場者数:約100名

■こどもはっち夏まつり

(こどもはっち特大版として、親子で楽しめるイベントを開催)

- ・実施日:2015年7月20日(月・祝)
- ・主催:こどもはっち
- ・参加者数:約400名



七夕らしい雰囲気の中、お茶会を実施



太極拳・カンフーで健康第一！



特別七夕ユニットによる華麗な演奏！



多くの親子連れで賑わったこどもはっち夏まつり



ダンスユニット Mu*mu による七夕ダンスパフォーマンス



優しいオカリナの響きを堪能

中心市街地
賑わい創出
事業

はっちのクリスマス

見て、聴いて、食べて！
盛りだくさんのはっちのクリスマス

「はっちのクリスマス2015」のスタートを飾る「ツリー点灯式」を ATV 情報番組「わっち!!」内で生中継。「八戸いちごマルシェ×菓子まつり」は昨年よりも規模を拡大し、約4,000個のロールケーキを使った市民参加型のロールケーキアートを制作。はっち全館が甘い香りに包まれた。そのほかクリスマスランプ作りワークショップや料理教室も大盛況で、参加して楽しめる企画が盛りだくさんのシーズンイベントとなった。

■「八戸いちごマルシェ×菓子まつり」

(いちごフォーラムや市民参加のロールケーキアート作り、いちごの直販やドーナツの実演販売)

- ・実施日：2015年11月28日(土)、29日(日)
- ・主催：八戸市農業経営振興センター、青森県菓子工業組合、八戸商工会議所
- ・入場者：約1,300名

■クリスマスツリー点灯式×ATV「わっち!!」生中継

(クリスマスツリー点灯式を ATV 情報番組「わっち!!」で中継。ゴスペルや幼稚園児によるハンドベル演奏も実施)

- ・実施日：2015年12月1日(火)
- ・入場者数：約300名
- ・出演：ゴスペルグループ「ONE FAMILY」、マリアンハウス幼稚園

■クリスマスイルミネーション・ツリー・リース展示

(外壁へはイルミネーション、はっちひろばにはクリスマスツリーを展示、ギャラリー1にはリースを展示)

- ・期間：2015年12月1日(火)～12月25日(金)
- ・協力：リース製作 小川重子氏(アトリエ小さな花)

■照明雑貨展とんぼわートウインクルー

(家庭にある身近なもの、捨ててしまうものを利用して「誰でも簡単に作れる照明雑貨」をコンセプトに LED ライトを使った作品を展示)

- ・期間：2015年12月9日(水)～12月25日(金)
- ・実施：とんぼわ

【ワークショップ】(紙コップを使用した照明雑貨製作)

- ・実施日：2015年12月12日(土)、23日(水・祝)
- ・参加者：約60名
- ・参加料：300円

■フランス料理店 origo 店主に教えてもらうクリスマス料理教室

(origo 店主 豊川氏を講師に、店の人気メニューのポテトグラタンやビーフステーキの作り方、盛り付け方を学ぶ料理教室)

- ・実施日：2015年12月13日(日)
- ・参加者数：21名
- ・講師：豊川 智氏(origo 店主)
- ・参加費：1,000円



八戸いちごロールケーキアートづくり



クリスマスツリー点灯式×「わっち!!」生中継



フランス料理店「origo」店主に教えてもらうクリスマス料理教室

■「からくりアート展2015」

(木のからくり展示・販売ほか、からくりとプロジェクションマッピングが融合した新感覚ゲーム「CAP SLIDER」(キャップスライダー)の展示)

- ・期間: 2015年12月18日(金)～12月23日(水・祝)
- ・入場者数: 2,350名
- ・主催: 高橋みのる氏(からくり工房)



からくりが主役の映画「トイシャドウ〜クリスマスの奇跡〜」を上映したほか、たくさんのからくりを展示

■クリスマス2DAYS コンサート

(2日間に渡り合唱やジャズライブ、バトン公演、ピアノコンサートを開催)

- ・期間: 2015年12月19日(土)、20日(日)
- ・入場者数: 約360名
- ・出演: 19日(土) 八戸聖ウルスラ学院高等学校音楽科生、音楽研究部生、Joyful Songs
20日(日) バトンチーム Aries、木下和彦氏



さまざまなジャンルの出演者によるコンサートを実施

■こどもはっちクリスマス会

(ハンドベル演奏や歌のお姉さんによるクリスマスステージ。サンタさんの絵本読み聞かせ、参加者へのプレゼントコーナー)

- ・実施日: 2015年12月23日(水・祝)
- ・入場者数: 約160名

■神秘展

(市民若手作家2人による絵画を中心とした作品展。空間全体に風船を散りばめ月のオブジェを吊るすなど独創的な空間を演出)

- ・期間: 2015年11月28日(土)～12月7日(月)
- ・入場者数: 約590名
- ・実施: 2人展(田中千鶴氏、矢吹渚氏)



独特な雰囲気の空間を作り、部屋全体を作品に仕上げた神秘展

■LED クリスマスランプを作ろう

(LED ライトを使い、カラフルに色が変わるクリスマスランプの製作ワークショップを実施。スパンコールやオーナメントで飾りつけをし、オリジナルのランプを作成)

- ・期間: 2015年12月14日(月)～12月20日(日)
- ・参加者数: 81名
- ・実施: 工作工房
- ・参加料: 1,000円



紙コップなど身近なもの、捨ててしまうもので作った照明を展示



スパンコールやオーナメントで飾った七色に光るクリスマスランプの製作ワークショップ

はっちのお正月

書道、スポーツなど
多彩なイベントで
新春のお祝いを盛大に！



新年にふさわしい書道パフォーマンス、新春を祝う民謡・手踊りやコンサート、八戸地域スポーツチーム合同イベントを開催。無病息災を願う法霊神楽一斉歯打ちでは、多くの来館者が詰め掛け、館内がお正月一色に染まった。

実施日：2016年1月2日(土)

入場者：約800名

■八戸東高校書道部・新春書道ガールズ・パフォーマンス

出演：青森県立八戸高等学校書道部

作品展示：1月2日(土)～7日(木)

展示作品：「笑門来福」、「未来」

■八戸スポーツチーム新春フェス

(八戸地域スポーツチーム選手のトークショー・マスコットパフォーマンスなど)

出演：ヴァンラーレ八戸、東北フリーブレイズ、青森ワッツ、
イタチカ八戸

■法霊神楽の一斉歯打ち

出演：おがみ神社法霊神楽保存会

■はっちのお正月に民謡一座がやってきた

(お正月らしいおめでたい民謡と踊りを披露)

出演：小坂勝義と小柴社中一座

■ハルモニア ニューイヤーコンサート

(サクセスとキーボードによるポップスコンサート)

出演：ハルモニア

■つり雛飾り・松坂つやとすてきな仲間たち！

・期間：2016年1月2日(土)～1月31日(日)

・実施：松坂つや氏(キルトハウス TAKU)

【ワークショップ】

(自分で選んだつり雛を製作できるワークショップを開催)

・期間：2016年1月16日(土)、17日(日)

・参加者：60人

・参加費：500円

○中心商店街のイベント(はっち前会場)

もちつきお振る舞い(先着200名様)

主催：八戸中心商店街連絡協議会



新年の願いを込めて書いた「笑門来福」



ダンスパフォーマンスでポーズを決める3チームのマスコットたち



サクセスとキーボードによるハーモニーを奏でたハルモニア

はっちのひなまつり

春の訪れを楽しむ
イベントが盛り沢山！



お雛様やお内裏様になりきって、ハイチーズ！

春の訪れを楽しみながら、女の子のお節句をテーマに、若い世代や親子連れにも関心を持ってもらえるような体験型イベントを開催。

■ひし餅カラーのキャンドル作り

(ピンク・白・緑のひし餅色でお花型のキャンドルを制作するワークショップを実施)

- ・実施日：2016年2月20日(土)
- ・参加者：37名
- ・講師：玉川 広志氏(虹灯～nijiakari～)
- ・参加料：500円

■ひなまつり料理教室

(飾り巻き寿司や手軽に作れる菜の花キッシュなど、ひなまつりに使えるパーティーメニューの料理教室を開催)

- ・実施日：2016年2月27日(土)
- ・参加者：24名
- ・講師：林料理学校
- ・参加料：1,500円

■羊毛で桃の花の小箱作り

(もこもこの羊毛を使って桃の花飾りの小箱を制作するワークショップを実施)

- ・実施日：2016年2月27日(土)、28日(日)
- ・参加者：37名
- ・講師：中川由美子氏(中川想品店)
- ・参加料：800円

■あわてん坊のなりきりお雛様

(ちょっと早めのひな祭り。お内裏様やお雛様の格好に着替えて記念撮影ができるブースを設置)

- ・実施日：2016年2月28日(日)
- ・参加者：312名
- ・実施：NPO 法人はちのへ未来ネット

■春を愛でるひな茶席

(尾形光琳作「紅白梅図屏風」のレプリカを展示し、春めく季節のお茶席を開催)

- ・実施日：2016年3月5日(土)
- ・参加者数：115名
- ・実施：岡田茂吉美術文化財団八戸支部
- ・参加費：300円

■消しゴムハンコで春柄ハンカチ作り

(花などの春らしい柄の消しゴムハンコを彫ってオリジナルのハンカチを制作するワークショップを実施)

- ・実施日：2016年3月5日(土)、6日(日)
- ・参加者数：50名
- ・講師：codecake
- ・参加費：500円

■ひなまつり演奏会

(尺八・箏・語りでひなまつりに相応しい演奏会を実施)

- ・実施日：2016年3月6日(日)
- ・参加者数：70名
- ・出演：生田流箏曲松の実會



キャンドル作りは親子に大人気！



羊毛フェルトは無心になれるのがいいですね！



春らしいオリジナルハンカチができました

中心市街地
賑わい創出
事業

はっち新規ファン開拓事業 第3回八戸市民ロボコン

ご当地ロボコン大会
今年は「イカ」をテーマに対決

市民で創るロボコン大会の3回目は八戸名物の「イカ」がテーマ。11月から約3か月間のワークショップで、子どもから年配者まで3人1組でロボットを製作。自分らが作ったロボットを操縦し、イカに見立てた棒を対戦形式で取り合う大会は、特別ゲストが登場するなど、白熱した戦いが繰り広げられた。



真剣な表情でイカに見立てた棒を高得点ゾーンに立てる子どもたち

■第3回八戸市民ロボコン～イカとり合戦～

- ・実施日：2016年2月14日(日)
- ・参加チーム：11チーム(32名)
- ・大会観覧者数…約100名
- ・参加料：3,000円(製作キット代)
- ・主催：八戸市民ロボコン実行委員会
- ・協力：八戸市中学校ロボコン



イカドンも手馴れたロボット操作を披露



今回優勝のバセリ団の皆さんおめでとう！
特製イカの金メダルを手にパチリ！



11チームの皆さんが約3か月かけて工夫しながら製作したロボットたち



参加者の皆さん大変お疲れ様でした。来年もガンバリましょう！



大会本番に向けて開催したワークショップでは、
ロボットを作り動きを確認



はっち2～4階に設置されたライブラリ。2015年度も写真集を中心に、多様な書籍を購入・設置。

第2回「はっちの箱古本市」では、古本市のほか、本のまち八戸構想 PR コーナーを設置するなど、市の取組を横断的に紹介。また、「月例特集」、「写真集の楽しみ方を探る雑談会」も毎月開催。

■各フロアのライブラリーテーマ(通年)

2階:「八戸を知る・日本を知る」

3階:「地元の文学者を知る・深める」

4階:「アートやデザイン、食やものづくり、画集、雑誌」

■4階ライブラリーの月例特集テーマ

4月 本で知る八戸

5月 写真は好きですか？

6月 知らない町へ出かけよう

7月 縄文、ジョーモン、JOMON！

8月 海が好き、水と魚も好き

9月 絵本よ絵本、私はだあれ

10月 秋も深まり和の文化

11月 みる、ふれる、つかう

12月 シアター！ダンス！ミュージック！

1月 あなたは何を着る？

2月 いま、どこに立ってるの？

3月 みんなの日々、みんなの街、みんなの“生きる”

■はっちの箱古本市

・実施日:2015年10月24日(土)

・参加者数:出店者15組 来場者約350名

・内容:出店者が個性的なラインナップの書籍を一箱分持ち寄って販売。古本市会場内で、内沼晋太郎×ナカムラクニオによるトークイベント、はっち特派員による「中心街の古書店」取材記事・写真展示、本のまち八戸構想 PR ブースの設置、ビブリオバトル in 八戸(主催:デーリー東北新聞社、八戸学院大学)紹介展示。

※ビブリオバトル…参加者自身が読んで面白かった本を持ち寄って紹介し合い、みんなが一番読みたくなったチャンプ本を選ぶ書評会。

■写真集の楽しみ方を探る雑談会

・日時:毎月不定期開催

・参加者数:1回平均約10名

・内容:主に4階ライブラリにある写真集の中から、参加者が各々興味を持った1冊を選び鑑賞、後に感想を述べる会。



古本市・いろんな本があるね



古本市・中心街唯一の古書店「遊歩堂」を展示紹介



本好き集まれ！写真集を楽しむワークショップ



文化芸術
活動支援
事業

まちぐみ事業

市民の「やってみたい！」をサポートし
中心商店街にワクワク感とまち歩きが楽しくなる
仕掛けを目に見える形で作る「まちぐみ」。

八戸で暮らす人々の「やってみたい！」を“まちぐるみ”でサポートしてカタチにする「まちぐみ」。アーティストの山本耕一郎さんがプロデュースし、中心街のお店をまちぐみメンバーと一緒にリノベーション。カラオケ店の改装では、外壁に歌手のイラストを描くなど思いがけないアイデアで、まちをちょとずつ楽しくするプロジェクトを進行。

■まちぐみリノベーション店舗

中心商店街の下記6店舗の改装を手がけた。看板の設置や、暖簾の縫製作業などさまざまな作業を、まちぐみ山本組長とまちぐみ組員と実施。

○まちぐみラボ、植村豆腐店、カラオケ Denim、はまぐみ、本八戸駅通り、朝日堂

■まちぐみラボ(拠点)リノベーション

八戸市十八日町の空き店舗を、まちぐみの活動拠点としてリノベーション。

■まちぐみへの加入

まちを元気にしたい！まちで楽しいことがしたい！という方々が「まちぐみ」組員として加入。2015年度は190名が加入。ニックネームとまちぐみで活かしたい得意技等の登録のみで誰でも加入可能。(1,000円でTシャツ購入、顔写真撮影あり)

■まちぐみ新聞第3号発行

まちぐみの動きについて、あえて瓦版形式の新聞を発行し商店街やはっちで配布。

・発行日：2015年10月22日(木)

■はちのへホコテン！出店

まちぐみの活動 PR のためはちのへホコテンに出店。その際、組員の自主的な企画として、まちぐみグッズやまちぐみ組員がデザインした南部せんべいパッケージなどを販売。

・実施日：2015年10月25日(日)

■まちぐみアーカイブ展開催

はっち開館5周年記念事業として、活動記録展示を実施。500枚以上の活動記録写真や、南部せんべいのパッケージ、八戸工業高等専門学校・八戸工業大学第二高等学校の生徒が考えたリノベーションの店舗模型などを展示。

2月11日(木・祝)には「まちぐみラボ見学ツアー」を開催。山本組長の説明を聞きながら、中心街を巡った。ツアー参加者13名

・期間：2016年2月8日(月)～2月21日(日)

・参加者：3,658名(うち、まちぐみ加入者31名)



まちぐみメンバーが力を合わせてリノベーション作業を進める



十八日町にオープンしたまちぐみラボ



みんなで集合写真

田附勝写真展「魚人」

「東北」を撮り続けてきた写真家・田附勝が
一年にわたり八戸市の沿岸部で撮影した
海、魚、そして人びと

2014年度「はっち魚ラボ」事業の中で、写真家^{たつきまさる}田附勝氏が、2014年の夏から冬にかけての8か月にわたり、八戸の沿岸部のハマの人たちの暮らしに密着取材。その成果は写真展「魚人」に。

2015年度も引き続き、春から夏にかけての沿岸部の海、魚、人びとを追い続け、さらに深く掘り下げ核心に迫った。

加えて、田附氏は、東日本大震災の津波で流出した大久喜漁港「厳島神社」の鳥居(笠木)が保管されていた米国オレゴン州ポートランドへも赴き、太平洋をはさんだ対岸の人と海を通してつながっていることが感じられる写真を多数記録として留めてきた。

2016年1月から2月にかけて、プロジェクトの集大成となる写真展「魚人」を開催。会期中は、全国から約2,000名の方がはっちへ足を運ぶ大盛況の企画展示となった。

併せて、写真集(1,000部限定)も刊行。各方面で話題を呼ぶなか、東京・銀座にある「1冊の本を売る書店」として話題の森岡書店において取り上げられた。その際には、書店内の設えを、大久喜のハマのインスタレーション展示で埋め尽くし注目を集めるとともに、トークイベントも開催。

■田附勝写真展「魚人」

- ・期間:2016年1月30日(土)~2月21日(日)
- ・協賛:株式会社カシマ、GRAIN HOUSE
- ・協力:八戸市南浜漁業協同組合、八戸鮫浦漁業協同組合、白浜・深久保・大久喜・金浜など浜のみなさん、富士フィルム株式会社、ポートランド日本庭園、内山貞文、T & M projects、株式会社金入、八戸市博物館、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
- ・後援:青森放送(株)、(株)青森テレビ、青森朝日放送(株)、めんこいテレビ、(株)八戸テレビ放送、(株)東奥日報社、(株)デーリー東北新聞社、河北新報、(株)時事通信社八戸支局、読売新聞青森支局、毎日新聞青森支局、産経新聞社青森支局、日本経済新聞青森支局、(株)エフエム青森、コミュニティラジオ局 BeFM
- ・入場者:約2,000名

■アーティストトーク

八戸で滞在制作した二人のアーティストが、八戸と世界、自然と人間の営み、地域性と普遍性、表現と身体感覚について語り合う

・実施日:2016年1月30日(土)

・出演:田附勝(写真家)

土谷享(KOSUGE1-16/アーティスト)

・聞き手:吉川由美(はっち文化創造事業アドバイザー)

・参加者:60名



撮影:田附勝氏(写真展フライヤーより)



写真展 アーティストトーク (左から 吉川氏、田附氏、土谷氏)



撮影風景・台所



銀座・森岡書店での写真集発行
トークイベントの設え



撮影風景・漁船編



展示風景



文化芸術
活動支援
事業

アーティスト・イン・レジデンス事業

アートとコミュニケーションの力で 縄文の魅力を発信

はっちでは、アーティストがまちと関わりながら市民に新たな発見や感動、江戸の魅力を再認識するきっかけを与えられるような活動を支援している。2015年度はコミュニケーションアーティストの YORIKO 氏が縄文をテーマに「江戸ロマン時空探検隊」を実施した。YORIKO 氏と市民で結成した探検隊が、専門家の方々の力を借りながら、歴史に隠されたロマンとミステリーを現代の目線から楽しく追っていくプログラムを開催。集大成として、縄文人になりきっての縄文合宿を実施。プログラム終了後には、参加者が自発的に縄文時代について調べるなどの効果もあり、縄文文化に目を向けるきっかけを作ることができた。

■江戸ロマン時空探検隊

- ・期間：2015年7月～8月
- ・参加者：27名
- ・協力：是川縄文館、是川文化財愛護会、中央ビル、御所野縄文博物館、種差少年自然の家、中村雅子、サム助、左京和子

○探検隊プログラム

- ・結団式・縄文文化基礎知識ツアー 2015年7月4日(土)
- ・草木染めと絵付けで縄文衣装作り 2015年7月5日(日)
- ・オリジナル土偶作り 2015年7月11日(土)、12日(日)
- ・七夕縄文喫茶 2015年7月18日(土)、19日(日)
- ・ミニ竪穴式住居・楽器作り 2015年7月25日(土)、26日(日)
- ・縄文合宿 2015年8月8日(土)、9日(日)



この地で発掘された石器を特別に触らせてもらう



大人も子どもも縄文人になりきって踊る



衣装に使う布を参加者が草木を使って染める



竪穴式住居で記念撮影

文化芸術
活動支援
事業

和日カフェ ～日本文化に親しむ日～

はっち流に日本文化を楽しむ
「和日カフェ～日本文化に親しむ日～」

市民が気軽に日本文化を体験する場の提供および、各文化団体の発表の場を創出することを目的に毎月第3日曜日に実施(ただし7月と2月を除く)。実施者が企画立案から実施までプロデュースする「プロデュース企画」も2回実施した。

「和日カフェで発表したい」という団体も増えてきており、和日カフェは浸透しつつある。また、いつもの活動をそのまま発表するのではなく、西洋文化を織り交ぜたお茶席を実施するなど、新しいことにチャレンジする団体も増加した。

■2015年4月19日(日) 230名

○卯月の茶会～春爛漫～

(「春を感じられるお茶会」をテーマに、野点風のしつらえと椅子席で開催)

・参加者:130名

・参加費:300円(お菓子付き)

・主催:遠州流茶道八戸支部

○舞踊と邦楽スプリングコンサート

(三味線と手踊り、民舞、大正琴のステージ)

・参加者:100名

・出演:滝田三絃会(三味線、手踊り)、八戸小唄八幡馬のうた雅会(民舞)、琴城流大正琴八戸琴華会(大正琴)

■2015年5月17日(日) 103名

○新緑をいけよう

(季節の花を自由に選び様々な花器にいけるいけ花体験)

・参加者:13名

・参加料:700円

・主催:龍生派八戸支部

○爽やかな風のもとで一服のお茶はいかがですか?

(テーブル席のお茶席で5月を感じさせつつ、初心者でも楽しめるように道具も丁寧に説明。)

・参加者:90名

・参加料:300円(お菓子付き)

・主催:江戸千家岩手不白会

■2015年6月20日(土) 41名

○身近な器に花をいける

(コーヒークップやグラスなど、身の回りにある器でのいけ花体験)

・参加者:30名

・参加料:500円～

・主催:一般財団法人 小原流八戸支部

○よもぎ入り! 白玉あんみつをつくろう

(より綺麗に見える盛り付け方のワンポイントアドバイスを含めた、よもぎ入り白玉あんみつ作り教室)

・参加者:11名

・参加料:600円

・講師:村田文子氏(はっち2階きたむら食堂店主)

■2015年6月21日(日) 85名

○父の日にいけよう～初夏の花を楽しむ～

(お父さんに花をプレゼントしよう!とのコンセプトで、初夏の花のいけ花体験)

・参加者:20名

・参加料:800円

・主催:草月会青森県支部

○一足早い! 七夕茶席

(七夕の設えのなかの一足早いお茶席)

・参加者:65名

・参加料:300円(お菓子付き)

・主催:江戸千家不白会八戸支部

■2015年8月16日(日) 381名

プロデュース企画:「涼を求めて～なな～んちゃってカルチャー～」
プロデューサー:櫻川梅福氏(櫻川流江戸芸かつぼれ八戸道場師範)

○法話「やさしい仏教のお話～お盆によせて～」

(お盆についてなど、昔から行われている仏教行事のいわれを紹介)

・参加者:40名

・出演:廣田妙敬氏

○落語(小噺を中心とした落語を披露)

・参加者:80名

・出演:大地球氏

○江戸芸かつぼれ公演

(江戸時代から続く伝統芸「かつぼれ」の披露)

・参加者:80名

・出演:櫻川流江戸芸かつぼれ NHK 八戸教室

○相撲甚句を楽しむ!

(「相撲甚句」披露のほか、合いの手の入れ方を紹介)

・参加者:80名

・講師:大久保達夫氏(青森相撲甚句会会長)

○つるしびな展示&体験

(さまざまなつるしびな展示と、金魚と鬼灯のつくりびな製作のワークショップを実施)

・参加者:20名

・参加料:600円

・講師:上谷怜子氏

○お茶席・着物の TP0～時、場所に合わせた着物の選び方～

(お茶碗を回す理由や、お菓子を食べる際の解説付きのお茶席を開催。加えて季節に応じた着物や帯の展示、着物の TP0 についての質問コーナーを開設)

・参加者:81名

・参加料:300円(お菓子付き)

・講師:表千家 小向社中ほか

■2015年8月13日(木)～16日(日) 504名

○はっちのお化け屋敷「メヅ伝説～第2章～」

(八戸の妖怪「メヅ」を題材にしたお化け屋敷を実施。プロジェクションマッピングによる演出も)

・参加料:100円

・共催:NPO 法人はちのへ未来ネット

・映像監修・制作:加藤直礼氏

■2015年9月20日(日) 205名

○お月見茶会～酒井抱一「夏秋草図屏風(複製画)」展示～
(国重要文化財「夏秋草図屏風」の精巧な複製画を間近で鑑賞しながらのお茶席)

・参加料:300円(お菓子付き)

・実施:財団法人岡田茂吉美術文化財団八戸支部

■2015年10月18日(日) 359名

プロデュース企画

プロデューサー:八戸市文化協会

○秋を愛でる踊り・おどり

(日本舞踊・詩吟・長唄の公演)

・参加者:120名

・出演:泉紫峰会、泉流彩菜会、若柳流柳永会、泉皋晶会、
泉流徳千佳会、水木流優吉会、泉紫寿佳会、
花柳流葉昌栄会、八戸岳智会、八戸小唄のうた雅会、
長唄はつ音会

○暮らしを楽しむ押し花とドライフラワー(作品展と体験)

(押し花やドライフラワーの作品展示のほか、しおり作り体験等数種類実施)

・参加者:114名

・体験料:500円～1,000円

・実施:小川重子氏(アトリエ小さな花・ワールドプレスフラワー協会本部講師)

・協力:ドライフラワーセンター

○いけ花体験～秋をいける～

(さまざまな花器やコップに季節の花のいけ花体験)

・参加者:15名

・参加料:500円

・実施:日本生花司松月堂古流青森県支部

○神無月のお茶席

(椅子席でお茶とお菓子が楽しめるお茶席を実施。)

・参加者:80名

・体験料:300円(お菓子付き)

・実施:遠州流茶道 八戸支部

○こどもきものファッションショー

(家族の思い出の着物や手作りの着物を着たこども達によるファッションショーを実施)

・参加者:30名

・実施:NPO 法人はちのへ未来ネット



性別や国籍を問わず日本文化を体験できる和日カフェ



親子でも体験できるいけ花教室を複数月開催



涼をもとめてお化け屋敷に長い列

■2015年11月15日(日) 195名

○折り紙体験「折り紙で作るクリスマスリース」
(折り紙で小さなクリスマスリース作り体験)

・参加者:35名
・参加料:200円

・実施:財団法人岡田茂吉美術文化財団八戸支部

○お茶席「野々村仁清と呈茶を楽しむ」

(江戸時代の陶工野々村仁清作 国宝「色絵藤花文茶壺
(複製)」を間近で鑑賞しながらのお茶席)

・参加者:100名

・参加料:300円(お菓子付き)

・実施:財団法人岡田茂吉美術文化財団八戸支部

○美術セミナー

(野々村仁清の作品を鑑賞するセミナー)

・参加者:60名

・実施:財団法人岡田茂吉美術文化財団八戸支部

■2015年12月20日(日) 162名

○お茶席～Gift!gift!ギフト!和日カフェ 12月～

(自身が選んだプレゼント箱に入っているお茶碗で、お茶を頂く「クリスマス」をテーマにしたお茶席)

・参加者:120名

・参加料:300円(お菓子付き)

・実施:茶道宗偏流青森支部 審心会

○お花でメリークリスマス～大切な人へのおくりもの～

(靴下を履かせた入れ物で、いけ花体験)

・参加者:42名

・参加料:800円

・実施:池坊八戸支部・池坊八戸支部青年部

■2016年1月17日(日) 133名

○第3回はっち杯 はちのへ郷土かるた大会

(2人1組のはちのへ郷土かるた大会。上位3組には賞品を
進呈)

・参加者:14名(7チーム)

○昔の遊び体験コーナー

(お手玉や羽子板、独楽、百人一首など、昔ながらの遊び体験)

・参加者:50名

○一葉式いけ花作品展～花型(かけい)展示～

(一葉式いけ花の基本型のいけ花作品を展示)

・主催:一葉式いけ花青森県支部

○一葉式いけ花の基本の花をいけてみませんか?

(一葉式いけ花の花型(かけい)のいけ花体験)

・参加者:4名

・参加料:1,000円

・主催:一葉式いけ花青森県支部

○煎茶を楽しむ

(煎茶のお茶席)

・参加者:65名

・参加料:300円(お菓子付き)

・主催:芭蕉流煎茶道八戸支部

■2016年3月17日(木)～3月27日(日)

○ふろしきのいろは展

(昔の商店の屋号が入ったふろしきの展示および、さまざまな
包み方をしたふろしき作品を展示)

・協力:八戸南部裂織工房「澄」、佐々木良市氏

○ふろしき包みのワークショップ

(ふろしきのさまざまな包み方のワークショップ)

・開催日:2016年3月20日(日)、27日(日)

・参加者:49名

・参加料:300円(ふろしき付き)

・講師:加藤恵子氏

■2016年3月20日(日) 42名

○表具展&掛け軸素材でしおり作り

(書や絵画を表装した作品展と表具の「はぎれ」でしおり作り
体験)

・参加者:32名

・参加料:100円

・実施:たちばな表具会

○和マナー講座「急須でお茶を淹れてみよう」

(煎茶、ほうじ茶などのお茶の飲み比べをはじめ、おいしいお
茶の淹れ方やお客様へのお茶の出し方講座)

・参加者:10名

・参加料:500円(お菓子付き)

・協力:陽幸園有限会社



折り紙でクリスマスリースを作る体験者たち



さまざまなふろしきや包み方を紹介したふろしき展



読まれたかるたに勢いよく飛び込む参加者

「はっちヒカリアソビ 2016」 ～はっちメディアアートフェスティバル～

3月のはっちは、プロジェクションマッピング、
ゲームなど「ヒカリでアソブ」1か月。

昨年までの「ライトショーフェスティバル」からリニューアルし、プロジェクションマッピング、映像等に加え、文化庁メディア芸術祭青森展サテライト展の開催に伴い、マンガ、ゲームなども含めたメディアアート作品の投影・展示を行った。

■幻想スクエア2016

（市民がコラージュし完成させた5体のビッグモンスターが登場するプロジェクションマッピング作品と、市内外のアーティストが制作したプロジェクションマッピング作品がそれぞれ、はっち裏の巨大壁面に登場！またビッグモンスターを動かせる体験コーナーも設置。）

○みんなでコラージュ、八戸ビッグモンスターを作ろう！ワークショップ

・期間：2015年12月5日（土）、6日（日）

・参加者：55名

○八戸ビッグモンスター、八戸ショートマッピング

・期間：2016年3月4日（金）、5日（土）

○八戸ビッグモンスターを動かそう！

・実施日：2016年3月6日（日）

・参加者：（体験コーナー）130名、（観覧者）約1,000名

・監修：株式会社ゼロニウム

・特別協賛：エプソン販売

・協力：エプソンアトミックス株式会社

■ミニチュア・プロジェクション・マッピング

「八戸ポータルミュージアム」

（「幻想スクエア2015」ではっち壁面に投影したプロジェクションマッピング作品を、1/100のはっちの模型に投影。）

・期間：2016年3月1日（火）～3月21日（月・休）

・監修：株式会社ゼロニウム

・協力：RENDER WAVE



■はっちショートムービーズ

（アニメーション作品「はちのへごっこ」など、はっちで制作したショートムービーを館内で上映。）

・期間：2016年3月1日（火）～3月21日（月・休）

■「Ingress」×八戸中心街 Quiz Rally

（スマートフォン位置情報を利用した仮想の陣取りゲーム Ingress。そのアプリを利用しながら中心街の名所を巡り、クイズを解きながらポータルをハックし、クリアした方に先着で賞品をプレゼント！）

・期間：2016年3月1日（火）～3月21日（月・休）

・主催：アオモリゲーミフィケーションラボ

・参加者：15名

■Ingress First Saturday in Hachinohe

（Ingress 公式イベント「First Saturday」を開催。各ポイントに応じて賞品プレゼント！初心者にはインストールから楽しみ方までレクチャー。）

・実施日：2016年3月5日（土）

・主催：アオモリゲーミフィケーションラボ

・参加者：33名



親子で八戸観光ポスターなどを切り貼りコラージュして5体のビッグモンスターを制作



Ingress 公式イベント「First Saturday」を開催中、八戸城跡付近でハック（相手を攻撃）



親子で壁にダイナミックに落書きするワークショップを素材にインスタレーション作品を展示

■池田拓馬個展「けされる絵／描かれるじかん」

(映像・インスタレーション作品の展示及び親子で壁に落書きするワークショップの開催とそのことを素材にした展示。)

○展示

・期間:2016年3月4日(金)~3月13日(日)

・主催:池田拓馬氏(八戸学院短期大学講師)

○ワークショップ

・実施日:2016年2月28日(日)

・参加者:16名

■プロジェクション・マッピング活用ワークショップ

~プロジェクションマッピングを構成する「式」は?~

(プロジェクション・マッピングソフト「ペコビジョン」開発者を講師に、実際にソフトを使いながら活用するための発想法を学ぶワークショップを開催。)

・実施日:2016年3月5日(土)

・来場者:16名

・講師:西岡克真氏(デザイン工房ハラペコ代表)

■My Ambivalent Light

(八戸市内を拠点に活動しているバンドによる、幻想的な光と音楽のアコースティックライブ。)

・実施日:2016年3月18日(金)

・出演:(in the)Middle Of Nowhere

・参加者:70名

■文化庁メディア芸術祭青森展「まぼろし村と、あなたとわたし」
連携企画サテライト展示

○安彦良和複製原画作品展示

(国民の人気TVアニメ「機動戦士ガンダム THE ORIGIN」や「王道の狗」の複製原画・パネル等の展示。)

・期間:2016年3月4日(金)~3月21日(月・休)

・協力:創通・サンライズ

○超大画面で遊ぼう! ゲーム大会&レトロゲームコレクション展
(第14回文化庁メディア芸術祭受賞作品「New スーパーマリオブラザーズ Wii」を巨大画面でプレイしたほか、市内コレクター所有のレトロゲームを展示。)

・期間:2016年3月17日(木)~3月21日(月・休)

・展示協力:パノラマ屋

・参加者:1,578名(ゲーム参加者:328名)

○超・超大画面で遊ぼう! ゲーム大会

(はっちの外壁面を超・超巨大ゲーム画面とし、New スーパーマリオブラザーズ Wii を親子でプレイ。)

・期間:2016年3月19日(土)~3月21日(月・休)

・参加者:227名(ゲーム参加者:90名)

■南郷アートプロジェクト連携企画

南郷アートプロジェクト映画つくろう! シリーズ3作品上映会
(2016年の春に統廃合する3つの小学校(市野沢、中野、鳩田)と制作した、南郷を舞台とする映画3作品を上映。)

・期間:2016年3月12日(土)、13日(日)

・協力:八戸市まちづくり文化推進室(事業受託者:株式会社アート&コミュニティ)



プロジェクションマッピングソフト「ペコビジョン」開発者の西岡克真氏を講師に迎えたワークショップを開催



市内コレクターの皆さんのご協力により、30年以上前のゲーム機・ソフトを展示



来場された皆さまのゲームに関する思い出をたくさんご記入いただいたアナログツイッター



世界で一番大きな?！画面で行った「New スーパーマリオブラザーズ Wii」こんなのほかでは出来ません!

文化芸術
活動支援
事業

酔っ払いに愛を ～横丁オンリーユーシアター～

酔っ払いとアートが共演？
八戸ならではのアートフェス



横丁ならではの、演者に触れてしまうほど狭い空間でのパフォーマンス。迫力満点！

八戸名物「横丁」は、古くから残る小路と小さなお店が連なる、全国的にも珍しいエリア。そんな横丁を舞台に、思わず息を呑むような近い距離感でアーティストがパフォーマンスを繰り広げる「横丁オンリーユーシアター」も7回目を数える。演劇やトーク、絵画展示、ベリーダンス、コント、韓国太鼓など、例年以上にバラエティに富んだパフォーマンスが好評を博した。異分野アーティスト同士でゲリラ的に繰り広げられるアドリブセッションも、観客の目を釘付けにした。

○期間：2015年10月9日（金）～10月11日（日）

○来場者数：3日間合計来場者1,410名

○チケット代：1,000円（3公演鑑賞券＋1ドリンク引換券）

プレミアムチケット1枚3,000円（12公演鑑賞券
＋2ドリンク引換券）

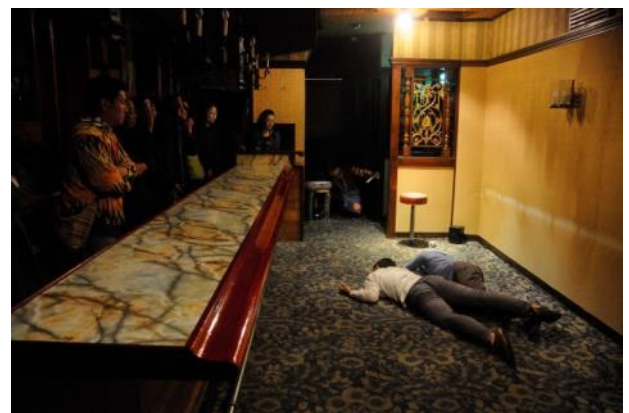
○主催：酔っ払いに愛を実行委員会



演者と観客のこの距離感！ここでしか体験できません。



アーティスト同士のアドリブ的なセッションも魅力！



「えっ？まさか！」な展開がてんこもり。

○アーティスト：チェ・ジェ Chol、未来.Co、

後藤かおり＋安斉研究所、
十日市秀悦、江戸八艶椿、
ノイズ中村、アレルゲンシアター、かえるP、
金子愛帆・矢吹唯、古屋正成、
大庭れいじカンパニー＋福土正一、
Emel Oriental Dance、
シロクマボーダーライン、
MISAWA INTERNATIONAL TRAVELING SHOW、
松原夢路

○協賛：オリエンタル酒販株式会社、南部電機株式会社、ムーンプラザ、いわとくパルコ、蜘蛛の糸、クラブ シャングリラ、サニー運転代行、中居食品容器株式会社、八戸液化ガス株式会社、八戸タクシー株式会社、コミュニティラジオ局 BeFM、PROA LLC.、三八五観光株式会社、株式会社ライケツ、株式会社類家大学堂薬局

○後援：NHK 青森放送局、RAB 青森放送株式会社、株式会社青森テレビ、青森朝日放送株式会社、株式会社八戸テレビ放送、株式会社岩手めんこいテレビ、東奥日報社、デーリー東北新聞社、コミュニティラジオ局 BeFM、株式会社エフエム青森、八戸商工会議所、株式会社まちづくり八戸、八戸中心商店街連絡協議会、公益社団法人八戸観光コンベンション協会

○協力：八戸横丁連合協議会、ジャスマック八戸館、金剛ビル、男山ビル、オリエンタルビル、檜館七番街、ムーンプラザ

文化芸術
活動支援
事業

**パフォーミングアーツ
振興事業**
質の高い
芸術観賞を八戸で



全国的に活躍するアーティストのパフォーマンスなど、質の高い芸術鑑賞の機会を八戸でも多く提供することで、新たなファン層へのアピールとなった。また、2015年は音楽公演を開催し、日本のホールでは珍しい、ベヒシュタイン社のピアノの活用と周知につなげた。

■スガダイロー×類家心平ライブ

(全国的な人気を誇るジャズピアニストのスガダイロー氏率いるバンドと、八戸出身のトランペット奏者である類家心平氏によるコンサート)

- ・日時:2015年6月6日(土)
- ・出演:スガダイロートリオ、類家心平氏
- ・企画協力:ヴェルヴェットサンレコード
- ・参加者:110名
- ・チケット:前売2,500円 当日3,000円

■新垣隆×吉田隆一コンサート in 八戸

(全国的な知名度を誇る作曲家・ピアニストの新垣隆氏と、サックス奏者吉田隆一氏によるデュオコンサート)

- ・日時:2015年6月20日(土) 2回公演
- ・出演:新垣隆氏、吉田隆一氏
- ・企画協力:アポロサ운ズ
- ・参加者:220名
- ・チケット:前売2,500円 当日3,000円



八戸出身の類家心平氏



ピアノとサックスのシンプルな編成で奏でる豊かな音楽



演奏後にはサイン会や写真撮影も

文化芸術
活動支援
事業

第四回 はちのへ演劇祭 八戸演劇の真髄 ここに極まれり 小寺演劇を一挙上演



「八戸を再び演劇の街へ」という思いのもと始まった『はちのへ演劇祭』。第4回を数える今回は、生涯八戸の演劇界を牽引し続けた劇作家であり演出家、小寺隆韶氏の3回忌を迎えるタイミングでの実施となり、氏の残した短編を中心に上演した。

また、八戸出身のダンサー磯島未来氏創作ダンスの作品も上演され、芝居のみの公演とは一味違う舞台となった。

- 公演日：2016年3月1日(火)～3月6日(日)
- チケット：前売一般500円・高校生以下200円(当日300円増)
- 主催：はちのへ演劇祭実行委員会
- 来場者数：703人
- 出演者・スタッフ：30名



会場は毎回大入り。上演後のアフタートーク風景



上演の様子 俗物礼賛から「鈴乃ちゃん」

第四回
はちのへ演劇祭
3月1日(火)～6日(日)

小寺隆韶追悼公演

「八戸を再び演劇の街へ」という思いで始まった『はちのへ演劇祭』。四回目を数える今回は、生涯八戸の演劇界を牽引し、八戸生活演劇連を創設した劇作家であり演出家、小寺隆韶氏の3回忌を迎えるタイミングでの実施となり、氏の残した短編を中心に上演した。また、八戸出身のダンサー磯島未来氏の作品も上演する。

小寺隆韶氏作品

タクシー 出題/新藤兼太
地下室 出題/新藤兼太
小さな花 出題/野村浩将
写真 出題/野村浩将
樹 出題/野村浩将
財布 出題/しもぎ博之
バラの花 出題/野村浩将
部屋 出題/野村浩将
鈴乃ちゃん 出題/野村浩将

磯島未来氏ダンス作品

もうひとつの幸福 出題/野村浩将

はちのへ演劇祭ホームページ
<http://www.sakuraba.com/hachi-info.html>

公演日	公演時間	上演作品	出演者
3/1(火)	19:00	小さな花	鈴乃ちゃん
3/2(水)	19:00	写真	鈴乃ちゃん
3/3(木)	20:00	地下室	鈴乃ちゃん
3/4(金)	14:00	バラの花	鈴乃ちゃん
3/5(土)	14:00	小さな花	鈴乃ちゃん
3/6(日)	14:00	写真	鈴乃ちゃん

※開演はそれぞれ30分前 ※ダンス作品「もうひとつの幸福」上演時間は約40分です

主催：はちのへ演劇祭実行委員会 協賛：八戸市文化芸術振興課 後援：八戸市文化芸術振興課 協賛：八戸市文化芸術振興課 協賛：八戸市文化芸術振興課

はちのへ演劇祭フライヤー



磯島未来ダンス作品「もうひとつの幸福」

ものづくり
支援事業

ものづくり スタジオ

創り手の手仕事を間近で観ることができ、 その場で買うことができる工房兼ショップ

2014年から入居した店舗が今年度も継続して営業。クラフトは伝統工芸の南部裂織やアロマなど、フードは健康料理など計8店舗入居している。各店の入居者が充実した創作活動や店舗経営を行い、将来の中心街への出店に向けて営業している。

■2015年度 ものづくりスタジオ入居者一覧

クラフト	おもちゃハウスくれよん (おもちゃ)	入居中
	工房「澄」 (南部裂織)	入居中
	かわいいアロマひつじや (アロマ)	入居中
	7the4th- HANDICRAFT- (革小物)	入居中
フード	Sports café RUOTE (カフェ)	入居中
	きたむら食堂 (健康料理)	入居中
	雅ちゃんカフェ (健康料理)	入居中
	very berry + (フレッシュジュース)	入居中



Sports café RUOTE
食とスポーツで「輪」を
広げるスポーツカフェ

おもちゃハウス くれよん
愛情たっぷり
手作りおもちゃのお店



きたむら食堂
地元食材を使った身体を
想う料理のお店

工房「澄」
柔らかな「地機織り」に
こだわった南部裂織のお店



雅ちゃんカフェ
食材 1つ1つを生かした体
に優しい料理のお店

かわいいアロマひつじや
1人1人に合った
香りをお届け



very berry +
地元のもの、旬なものを
おいしく体にプラス

7the4th-HANDICRAFT-
機能性や強度にこだわった
一点ものの革小物





ものづくり
支援事業

はっち市 2015 はっちが ちっちゃな街になる

「はっちがちっちゃな街になる」をコンセプトに、全館まるごとクラフト市を開催。5回目となる2015年は「みえるもの・みえないもの」をテーマに、71店舗が出展。クラフト市の他に、日替わりでカレー店が出展するなど、より楽しめる工夫をした。また、同時にギャラリーでは故類家けんじろう氏の型絵染め、造形作品展ならびに、シアターでは類家けんじろう作品に囲まれた中で、息子でありランペッターの類家心平氏がライブを開催するなど、クラフト市以外の企画にも力を入れた。

○開催日

2015年11月21日(土)12:00~20:00
11月22日(日)10:00~18:00
11月23日(月・祝)10:00~18:00

○テーマ「みえるもの・みえないもの」

○主催:はっち市実行委員会

○来場者数:17,573名(3日間計)

○出展者:クラフト60店舗、フード11店舗

■オープニング

(こどもはっちのちびっこダンサーズによる、オープニングセレモニー)

・実施日:2015年11月21日(土)

・協力:こどもはっち

・参加者:402名

■はっち市ラジオ局

(びびすた♪の特別番組および、ラジオ風の館内放送を実施)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

・主催:コミュニティラジオ局 BeFM

■ちびっこアートひろば

(壁やダンボール作品に、自由に絵や文字が描ける体験コーナーを設置)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

・監修:YAM氏



1階から4階まで所狭しとクラフト作品が並ぶ



父の作品に囲まれながら、ライブに出演した類家心平氏

■ちっちゃな街のまなび舎

(ゲストによる、宇宙・縄文・妖怪に関するトークを実施)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

・講師・演題:江刺家均氏(郷土史家)

「八戸地方の妖怪・もののけ・お化け」

丹羽隆裕氏(天文博士)

「見える宇宙・見えない宇宙」

小久保拓也氏(是川縄文館学芸員)

「縄文の祈り・見えないものに何を託したのだろうか」

渡辺 亮氏(パーカッショニスト)

「妖怪とその音楽」

■類家けんじろう作品展~心の地平と旅した工芸師~

(故類家けんじろう氏が制作した、彫刻や型絵染めの等の作品を展示)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

■渡辺亮の「妖怪たち」+類家けんじろうの「造形物」

(渡辺亮氏(パーカッショニスト)が描いた200枚余の「妖怪」と、類家けんじろう氏の作品をコラボレートした展示)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

■八戸の伝統工芸体験

(八戸の伝統工芸「南部裂織」と「南部菱刺」を体験できるコーナーと作品販売)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

・主催:八戸南部裂織工房「澄」、南部菱刺し刺しっ娘の会

・参加料:500円

■こどもはっち こども商店街

(こどもはっち内にアイス屋さん等お店屋さんごっこができるブースを設置)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

・主催:NPO 法人はちのへ未来ネット

■託児室

(小さなお子様がいる保護者もゆっくり楽しめるよう託児室を準備)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

・主催:NPO 法人八戸子育てメイトサロンネット

・利用料:1時間200円/1人(最大2時間まで)

■冬の外カフェ

(薪ストーブを活用したカフェで、コーヒー、軽食を提供。焼きマシュマロも。)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

・主催:そーるぶらんちかふえ

■日替わりカレーフェス

(日替わりで、インド・欧風・タイのそれぞれのカレー店が出展)

・主催:21日(土)サージャタージマハル(インドカレー)

22日(日)八戸プラザホテル(欧風カレー)

23日(月・祝)アビ(タイカレー)

■八戸工業大学第二高等学校美術コース~作品のかいだん~

(美術コースの生徒が制作した八戸の魅力を伝えるポスターを展示)

・期間:2015年11月21日(土)~11月23日(月・祝)

■はっち市役所でのいい夫婦証明書!

(いい夫婦の日先着100組の夫婦に、「良い夫婦証明書」の発行。さらに、1,122円以上(フード除く)お買い上げされた先着22組には「はっち市オリジナル相愛傘」をプレゼント)

・実施日:2015年11月22日(日)

■ちびっこサンバ

(YAM氏とちびっこサンバチームによる館内ゲリラライブ)

・実施日:2015年11月22日(日)

■RUIKE SHINPEI 5piece band

(類家けんじろう氏の作品に囲まれながら、息子であり、トランペッターの類家心平氏を中心としたバンドによるジャズライブ。合間には「類家けんじろうとは何者だったのか」と題し、スペシャルトークを開催)

・期間:2015年11月22日(日)、23日(月)

・ライブ出演:RUIKE SHINPEI 5piece band

・トーク出演:類家心平氏、木村勝一氏(造形作家)

■フォーラム八戸コラボ企画

(はっち市ガイドブックを提示すると「劇場霊」を鑑賞する際、割引が受けられるサービスを実施。また、当館にも劇場霊のPRコーナーを設置)

・期間:割引サービスは映画公開期間中

PRコーナーは、はっち市期間中設置

・協力:フォーラム八戸



たくさんの子ども達が参加したちびっこアートひろば



11月22日は「いい夫婦の日」。ご夫婦へ「はっち市オリジナル相愛傘」をプレゼント



クラフト市だけではなく、カフェ・フードが館内外に出店

ものづくり
支援事業

ものづくり支援事業

八戸のものづくりの中核を担う
人材の育成



ものづくりスタジオ入居者の支援のため、三社大祭、七夕祭り、ホコテンやはっち市への無償出店、はっちウェブサイトや広報物での店舗及び作家の紹介、定期的な体験会(ワークショップ)等のイベントを開催、アドバイザーを招聘しての勉強会を開催。

2015年度は、入居者自らがワークショップイベントを企画・実施することで、将来に向けての企画運営能力の向上並びに館内の賑わい創出に一役買うことで各店舗のPRも図られた。

■ものづくりスタジオワークショップ等イベント

ものづくりスタジオ入居者が集合イベントを開催。クラフト系は体験をメインとし、フード系は特別メニュー等の販売を行った(一部食のスタジオにて教室有)。

- ・実施日 ・ものづくりDAY:2015年5月2日(土)
- ・親子で夏の文化祭:2015年8月16日(日)
- ・ものスタクリスマスウィーク:2015年12月13日(月)~12月20(日)
- ・ものスタクリスマスパーティー:2015年12月20日(日)

■ものづくりスタジオアドバイザー研修会

各入居者の起業に向けた事業計画及び資金計画づくりの考え方について研修会を実施。

- ・実施日:2016年1月22日(金)
- ・講師:稲葉雅子氏(株式会社ゆいネット代表取締役)



夏の文化祭では、折り紙工作や親子ヨガ体験など家族で参加できるイベントを複数開催



事業計画や資金計画の立て方を学び、これからのショップ運営に活かす研修会を開催



ものづくりスタジオおよびッキング工房について、分かりやすく市内外の方にお伝えする「ものづくりカタログ」(A4二つ折り・4色カラー)



クリスマスシーズンにあわせた店舗装飾を実施したほか、限定メニューを提供

お祭りin はっち 2015 (八戸三社大祭)

はっち流「八戸三社大祭」の 楽しみ方を提供！

八戸の夏最大のイベント八戸三社大祭と連携し実施した「お祭りinはっち」。加賀美流騎馬打毬観戦ツアーなど恒例企画のほか、2015年は地元FM局による八戸三社大祭「お通り」の生中継を行うなど、はっちから外への情報発信も実施。



勇猛果敢な大迫力の騎馬打毬

- 三社大祭＆加賀美流騎馬打毬パネル展
(三社大祭と加賀美流騎馬打毬の歴史や見所、魅力などをパネルや映像でわかりやすく紹介)
・期間:2015年7月24日(金)～8月9日(日)

- はっち特派員「三社大祭パネル展」
(各山車組の熱のこもった山車作りをはっち特派員が取材したパネル・写真展を実施)
・期間:2015年7月29日(水)～8月5日(水)

- はっちの山車展示
(展示だけではなく、はっちひろばを山車小屋に見立てた、山車の出し入れの臨場感が味わえるのも特徴)
・期間:2015年7月31日(金)～8月4日(火)
・協力:長横町粋組、八戸共進会山車組

- 小太鼓体験～たいこでドン！～
(小太鼓の練習風景の映像に合わせて小太鼓体験にチャレンジ！お祭りに参加している気分が味わえます！)
・期間:2015年7月31日(金)～8月4日(火)
・協力:八戸婦人ボランティアいちいの会
・参加者:402名

- BeFM特別番組「BeFM三社大祭スペシャルinはっち山車だ！神輿だ！お通りだ！」
(はっちひろば特設ブースから期間中の見どころ紹介、三社大祭「お通り」の実況中継、はっち来館者へのインタビューなどを生放送)
・実施日:2015年8月1日(土)
・協力:コミュニティラジオ局 BeFM

- 創作和紙人形展～お祭りがやってきた！～
(創作和紙人形作家 和井田良子氏による、現在では見られない芸能なども含めたお祭り行列の和紙人形展)
・期間:2015年8月1日(土)～8月16日(日)
・協力:和井田良子氏

- 加賀美流騎馬打毬 観戦ツアー
(全国で八戸を含め3か所で行われていない「騎馬打毬」をルール解説付きで観戦するツアー)
・実施日:2015年8月2日(日)
・場所:長者山新羅神社(集合:はっち)
・参加料:500円
・参加人数:26名

○協力団体
おがみ神社、長者山新羅神社、神明宮



はっちひろばを山車小屋に見立てて山車を出し入れする長横町粋組



小太鼓体験～スクリーンのお手本を見ながら真剣に太鼓を叩く子どもたち



三社大祭の山車行列を創作和紙人形で再現

観光振興
・FMアクセス
事業

えんぶり in はっち

見て楽しい・体験できる！

はっちのえんぶり



毎年の恒例企画で好評を博しているえんぶり公演や衣装の着つけ体験、作家と話せるコーナーのほか「類家けんじろう型絵染展」や「えんぶりと韓国農楽の舞い手が語るトーク&パフォーマンス」など新しい企画も取り入れ、さらに充実させた。

■類家けんじろう型絵染展

(八戸出身の工芸作家、故類家けんじろう氏が制作した、えんぶりをモチーフとした型絵染を中心とした作品展示)

・期間:2016年2月13日(土)~2月20日(土)

・協力:佐々木良市氏、類家けんじろう氏奥様

・入場者数:約1,600名

■はっち特派員えんぶり展

(えんぶりの写真や、ジオラマ作品、組の紋章紹介など)

・期間:2016年2月13日(土)~2月21日(日)

■「えんぶり」創作和紙人形展

(明治初期のえんぶりの様子を再現した和紙人形展)

・期間:2016年2月15日(月)~2月21日(日)

・協力:和井田良子氏

■えんぶり公演

(各日昼と夜に各えんぶり組による公演を実施)

・日程:2016年2月17日(火)一名川中、市庁

2月18日(水)一小中野、常番町

2月19日(木)一細越、研賛会

2月20日(金)一日計、仲町

・観覧人数:約1,800名(全日程合計)

■えんぶり衣装着つけ体験

(太夫や松の舞の衣装の着つけ体験)

・期間:2016年2月17日(水)~2月20日(土)

・協力:内丸えんぶり組、市庁郷土芸能保存会

・参加者:158名

・参加料:100円

■ミニえぼしを作ろう！！

(えぼしのミニチュア作り体験)

・期間:2016年2月17日(水)~2月20日(土)

・協力:NPO 法人はちのへ未来ネット

■えんぶりシアター・パネル展

(えんぶりの成り立ちや舞の種類など、はっち流の解説によるパネル展と、口上や舞などの練習風景の映像上映)

・期間:2016年2月17日(水)~2月20日(土)

■えんぶりと韓国農楽の舞い手が語るトーク&パフォーマンス

(八戸えんぶり最年長といわれる舞い手と韓国農楽の舞い手による、伝統芸能を通じた国際交流というアプローチでの実演も交えたトークイベント)

・実施日:2016年2月18日(木)

・出演:高橋常男氏(八太郎えんぶり組)、チェ・ジェ Chol 氏(チャング(韓国太鼓)演奏家)、古館光治氏(是川縄文館長)、今川和佳子氏(PROA LLC. 代表、(一社)アーツグラウンド東北理事)

・協力:八太郎えんぶり組、PROA LLC.

・参加者:100名

■えんぶり人形作家と話そう

(再現した作業場で作家本人による制作実演)

・期間:2016年2月18日(木)~2月20日(土)

・協力:下崎雅之氏(えんぶり人形ジオラマ作家)

・参加者:約200名



作家が作業する手元を間近に見て話しでもできる贅沢な空間



鮮やかな色彩で表現された型絵染



着つけ体験 親子でハイポーズ



観光振興
・FMアクセス
事業

市民学芸員・はっち特派員 はっちサポーター

はっちの観光展示を
支える市民力

はっちの観光展示の特徴のひとつは、市民の手によるものが非常に多いこと。展示作品を制作した「市民作家」の皆さんと併せて、大切な担い手となっていてくださっている方々が「市民学芸員・はっちサポーター」である。

種差海岸で自然観察・保護活動続ける「わの会」の皆さんは、はっち館内種差海岸の紹介コーナーに10日に一度程度のペースで、いま咲いている植物や風景の写真をコメント入りで更新している。

また、ボランティアで月に3回程度、八庵にいけ花を展示したり、デーリー文芸天位入選作品を色紙作品に仕上げ展示するなど、展示更新には「はっちサポーター」が活躍している。

さらに、「はっち特派員」として、市内で活躍するブロガーなどにご協力いただき、さまざまなリアルタイムの地域情報を「はっち目線」で情報発信。はっち特派員ブログで旬な八戸の情報を発信。また、「八戸三社大祭」、「八戸えんぶり」の開催に合わせ写真展を開催したほか、館内に大型タペストリーを展示した。

■「旬の種差海岸の花々」写真リポート

- ・実施団体:「植物観察わの会」
- ・場所:2階 観光展示「種差海岸コーナー」

■八庵いけ花展示

- ・日時2015年7月～2016年3月(のべ24回)
- ・協力:金入陽子氏

■八庵色紙更新

- ・日時2015年4月～2016年3月(月3枚×12か月)
- ・協力:杉本敦子氏

○色紙展

- ・日時2015年7月16日(木)～7月23日(木)
- ・入場者:約1,200名

■はっち特派員写真展

(八戸三社大祭、八戸えんぶりの開催にあわせ、2つの祭りの写真展を開催)

- ・日時:2015年7月29日(水)～8月5日(水)
- ・日時:2016年2月13日(土)～2月21日(日)



季節の花々で八庵を彩り利用者をお出迎え



デーリー文芸天位に入選した俳句や短歌を書作品に仕上げた色紙の数々

来館者とまちをつなぐ ボランティアガイド

はっちは1階から4階まで観光展示やショップなどがあり、1人で見て回っても十分楽しめる施設だが、毎日2人いるガイドに案内してもらくと、また違ったはっちを楽しめる。

館内案内や八戸の見所案内はもちろんのこと、良き話し相手にもなってくれるガイドは30代から80代の幅広い世代で構成されており、研修会などで勉強しながら日々はっちを支えている。

○ガイド常駐時間 9:00～17:00



観光客目線で種差海岸をトレッキング体験・研修を開催。展示をご案内する際の参考に。

はっちボランティアガイド活動日報より

○えんぶりコーナーで、デーリー東北にえんぶりを撮影した写真が掲載されたという男性から、はっちは八戸の紹介が充実している。特に中身をもっと知りたかったら現地に行きなさいという「寸止め」のところがいい。観覧ポイントの説明も充実していると誉められた。

○仙台市から来八の若い女性を案内。各フロアを説明するたびに感心されたり喜ばれたりしてガイド冥利につきた。事前にインターネットで調べてからきたそうだが、ガイドして案内してもらいながら実物を見ると当初の印象とはずいぶん違うとのことだった。

○観光のため来八したという千葉県からのご夫婦を案内。お祭りの映像をじっくり見ていたのでお声掛けしたところ、「千葉には伝統芸能とかお祭りがないので、このようなお祭りがうらやましい。子どもから大人まで参加しているのが興味深い。館内でたくさんの学生が勉強している姿が見ることができ感動。ガイドさんが本当に八戸のことが好きだという心が伝わってきた。」と言われ、ガイドをしていて大変うれしかった。

○大阪から北海道に向かう途中で、東京から夜行バスを利用し来八した若い女性を案内。インターネットではっちのことを調べてきたそうで、一人で見学していたらよく分からなかったと思うが案内してもらってよかった、ありがとうございました。と喜ばれていた。



年齢層も幅広く、それぞれの持ち味で来館者を楽しませている



外部講師を招いて研修会を開催。ガイドの資質の向上に努める。



はっちを飛び出して、市内施設の見学研修を開催(八戸製氷冷蔵株式会社)



情報発信
事業

はっちリレーショナル・プレス はちみつ

このまちがもっと、このまちらしく
輝くためのソウゾウ開花
「はっち」が贈る、おいしい情報

はっち館内のことはもちろん、八戸の魅力を
紹介するフリーペーパーとして、2015年度ま
でに全23号を発行。中心街のお店、市内公
共施設はもとより全国の公共施設にも配布して
いることから、年々全国からの問い合わせも増
えてきている。2015年は年3回発行。

- ・発行部数: vol.21～22 15,000部
vol.23 18,000部
- ・仕様: B4判8ページ2つ折、フルカラー
- ・配布先: 中心街約130か所
その他市外約360か所に配布
- ・発行時期: 2015年7月(21号)、
10月(22号)、
2016年1月(23号)

放送スタジオ 「びびすた♪」 ラジオから届け！ はっちのお知らせ情報



毎回、はっちでイベントを開催する主催者がゲスト出演し、楽しいトークを繰り広げる

「ラジオ」というと顔が見えず音だけを頼りに情報をキャッチするもの。「どんな人なのだろう?」「どんな空間で放送しているのだろう?」とワクワクするのもラジオならではの楽しみの一つだが、はっちでは1階のガラス張りの放送スタジオで公開放送しているので、スタジオの前に立てば、ラジオで話している様子を直接見ながら楽しむこともできる。「送り手と聴き手が空間を共有できる」はっちのラジオ放送をぜひ覗いてみてほしい。

また、番組中は、はっちや中心街で開催するイベントを告知するコーナーがあり、イベントの実施者が自らラジオに出演し、イベントの宣伝・PRを行っている。

- ・年間出演者数: 約300名
- ・周波数: 76.5MHz
- ・放送日時: 毎週月～金 11:30～15:00
- ・協力: コミュニティラジオ局 BeFM



貸館事業

市民のみなさんの 活動・交流の場

はっちの三大事業のひとつである貸館事業。市民のみなさんがはっちの施設を利用し、さまざまな催し物を開催している。利用者は年々増えており、毎年開催される恒例イベントも増加している。各施設の特徴や利用事例を紹介。



1F はっちひろば

3階まで吹き抜けの開放的な空間。作品展示・ステージ発表・講演会など多目的に使用可能。



1F シアター1

音響設備やピクチャーレール・ライトなどを用意しており、講演会・作品展示などが多く開催されている。



1F ギャラリー1

ピクチャーレール・展示用照明がある展示スペース。はっちひろば、シアター1と組み合わせた利用も可能。



2F シアター2

音響・照明設備・大型スクリーンがある多目的ホール。楽屋も完備しライブ・演劇が多く開催されている。



2F ギャラリー2

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F ギャラリー3

作品の映える白壁にピクチャーレール・展示用照明を備えた個展に最適な展示スペース。



3F 和のスタジオ・八庵

炉を備えた 32 畳の和室「和のスタジオ」。掘りごたつ式にもなる「八庵」を組み合わせ利用も可能。お茶席・日本舞踊の発表会・お稽古が多く開催されている。



3F 音のスタジオ

ドラムセット・キーボード・アンプなど音響設備が備わっている防音室。楽器練習・バンド練習のほか、シアター2の本番前練習にも利用されている。



4F 食のスタジオ

コンベクションオープン・炊飯器を始め、調理器具・調理台が備わった開放感あふれる調理室。調理の様子を映すカメラとモニターも設置。



5F 共同スタジオ

100 m²の多目的スペース。大人数でのワークショップなどが多く開催されている。



5F レジデンス

約 42 m²の多目的スペース。アーティストがレジデンスしていない時は、少人数の会議・セミナー、踊りのお稽古などが多く開催されている。

○貸し館の稼働率 (2015年4月～2016年3月)

スペース	稼働率
シアター1	84.0%
シアター2	80.7%
音のスタジオ	102.7%
レジデンス	89.7%
ギャラリー1	84.1%
ギャラリー2	65.4%
ギャラリー3	50.7%
はっちひろば	64.0%
食のスタジオ	35.7%
和のスタジオ	38.0%
共同キッチン	54.7%
共同スタジオ	49.3%

※4時間以下の利用を0.5日、それ以上を1日単位として換算





こどもはっち

未来の文化を
創造する
こどもたちに
開かれた場

こどもはっちは県産材の木の温もりをたっぶり感じながら遊べる、こどもとおとなの交流空間。毎週末におもちゃの工作や絵本の読み聞かせタイム、バス遠足や人形劇観賞、そして折々の季節行事など、たくさんの体験の機会を提供している。パパ・ママたちの出合いの場のサークル活動や育児・子育て相談事業を実施するとともに、各地域の子育て情報を発信するなど、八戸市の子育て支援の拠点施設としての大きな役割を担っている。全てのこどもたちが夢いっぱい健やかに育つように、そしてこどもを育てる世代の全ての人たちが楽しく豊かに子育てできるように、地域のさまざまな団体、機関、個人のみなさまからご協力いただきながら事業を行っている。





2015年度 はっちの自主事業

区分	事業名	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月	
		上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬
1.	金所場づくり																								
2.	貸館事業	○自習室密着(2.5)			○オンラインフェス(3.24)			○リニューアルオープン(4.1)																	
3.	こどもはっち	○双子ちゃん集合(5)			○貸館ページ修正			○おさけり市(7)																	
4.	自主事業				○フリースター運動会(6)																				
文化芸術活動振興	1) ライブラリー事業				・出展者募集																				
	2) シーズンイベント				OGW(25-6)																				
	3) 中心街連携事業				・市民企画公募(七夕)			○告知ページ作成																	
	4) 周年事業				○ホコチン(24)			○ホコチン(28)																	
	5) 和日カフェ							21																	
	6) まちづくり				17																				
	7) 横丁活性化事業(酔っ払いに愛を)																								
	8) アーティスト・イン・レジデンス公募事業				・アーティストによる取材			○告知ページ作成																	
	9) ハワイアミングアーツ振興事業																								
	10) 田間耕(魚人)写真展																								
ものづくり	11) メディアアート活用事業																								
	12) 共創事業																								
	13) ものづくりスタジアム支援事業																								
	14) はっち市2015																								
観光振興	15) お祭り連携事業																								
	16) フィールドミュージング・アムアム・アムアム																								
	17) 観光展示																								
情報	18) アーカイブ																								
	19) 情報発信																								
	20) 市民活動支援事業①投げ銭ライブ																								
その他	21) 新規ファン開拓事業																								
	22) ハルモニウム・アムアム・アムアム																								
	23) はっち文化創造アドバイザー																								



2015.4－2016.3

八戸ポータルミュージアム はっちの歩み

発行日 2017年2月1日

発 行 八戸市【八戸ポータルミュージアム】

〒031-0032 青森県八戸市三日町11-1

TEL 0178-22-8228

FAX 0178-22-8808

<http://hacchi.jp>
